

# 平成17年中の姫路市の人口の動き

姫路市情報化推進室統計担当

## 1. はじめに

本書は、平成17年中の姫路市の人口の動きをまとめたものである。

ここで述べる人口動態は、住民基本台帳法及び外国人登録法の規定に基づく出生・死亡・転入・転出の届出を集計したものである。一部、標記がある場合については、住民基本台帳法に基づく転入・転出のみの集計となっている。

また、本文において出てくる人口増減数は〔自然増減数+社会増減数〕、自然増減数は〔出生数-死亡数〕、社会増減数は〔転入者数-転出者数+その他〕、社会超過数は〔転入者数-転出者数〕、人口動態率等の比率は〔人口千人あたりの比率〕を意味する。

平成18年3月27日に合併した4町分（家島町、夢前町、香寺町、安富町）については、『5. 合併町の人口動態』を除き含まれていない。

## 2. 人口動態

### (1) 概況

#### 人口は、17年連続の増加

姫路市の平成17年中の人口動態をみると、人口増減数は764人で、平成元年以来、17年連続で人口増加を続けている。

また、前年の126人と比べ、人口増減数は638人上回っており、3年ぶりに人口増加規模も拡大した。

人口増減を、自然増減と社会増減に分けてみると、自然増減数は606人、社会増減数は158人で、ともに増加となった。

自然増減数を、前年と比べると、前年の1,013人より407人減少し、3年連続で増加規模は縮小した。

それに対し、社会増減数は、前年の△887人に比べ、1,045人増加し、9年ぶりにマイナスからプラスに転じた。

図1 人口動態の推移

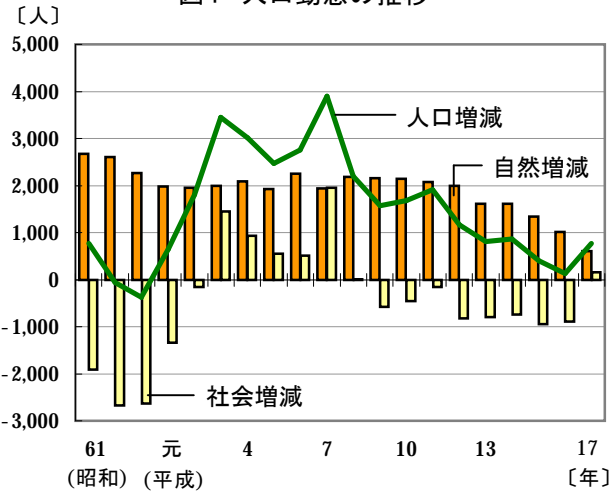


表1 人口動態の推移

(単位：人)

区分	人口増減	自然動態			社会動態			
		自然増減	出生	死亡	社会増減	転入	転出	その他
昭和 61年	763	2,672	5,607	2,935	△ 1,909	14,598	16,610	103
62	△ 66	2,607	5,536	2,929	△ 2,673	14,289	17,152	190
63	△ 370	2,263	5,341	3,078	△ 2,633	14,154	16,984	197
平成 元年	646	1,985	5,024	3,039	△ 1,339	14,757	16,291	195
2	1,805	1,955	5,196	3,241	△ 150	16,111	15,866	△ 395
3	3,445	1,995	5,182	3,187	1,450	17,120	15,901	231
4	3,012	2,083	5,305	3,222	929	16,474	15,716	171
5	2,472	1,920	5,295	3,375	552	16,685	16,319	186
6	2,761	2,249	5,521	3,272	512	16,783	16,528	257
7	3,896	1,942	5,352	3,410	1,954	18,881	17,192	265
8	2,200	2,189	5,566	3,377	11	16,943	17,132	200
9	1,575	2,151	5,635	3,484	△ 576	16,460	17,197	161
10	1,678	2,138	5,814	3,676	△ 460	16,598	16,993	△ 65
11	1,911	2,070	5,575	3,505	△ 159	16,286	16,630	185
12	1,168	1,996	5,663	3,667	△ 828	15,950	16,903	125
13	805	1,607	5,350	3,743	△ 802	16,081	17,066	183
14	870	1,616	5,280	3,664	△ 746	15,852	16,636	38
15	396	1,345	5,069	3,724	△ 949	15,810	16,859	100
16	126	1,013	4,994	3,981	△ 887	15,410	16,426	129
17	764	606	4,646	4,040	158	15,238	15,206	126

注) 外国人登録数を含む。

(2) 男女別人口動態の推移

**社会増減数は、男女とも過去5年間ではじめてのプラス**

男女別の人口動態をみると、平成17年中の人口増減数は、男が244人、女が520人で、前年の男△174人、女300人と比べ、男が418人、女が220人増加し、男女ともに3年ぶりの増加となった。

また、自然増減、社会増減数別にみると、自然増減数は、男が176人、女が430人で、前年の男433人、女580人と比べ、男が257人、女が150人減少し、過去5年間で、男は5年連続、女は4年連続の減少となった。

また、社会増減数は、男が68人、女が90人で、前年の男△607人、女△280人と比べ、男が675人、女が370人増加し、男女とも過去5年間ではじめてのプラスとなった。

図2 男女別人口動態の推移

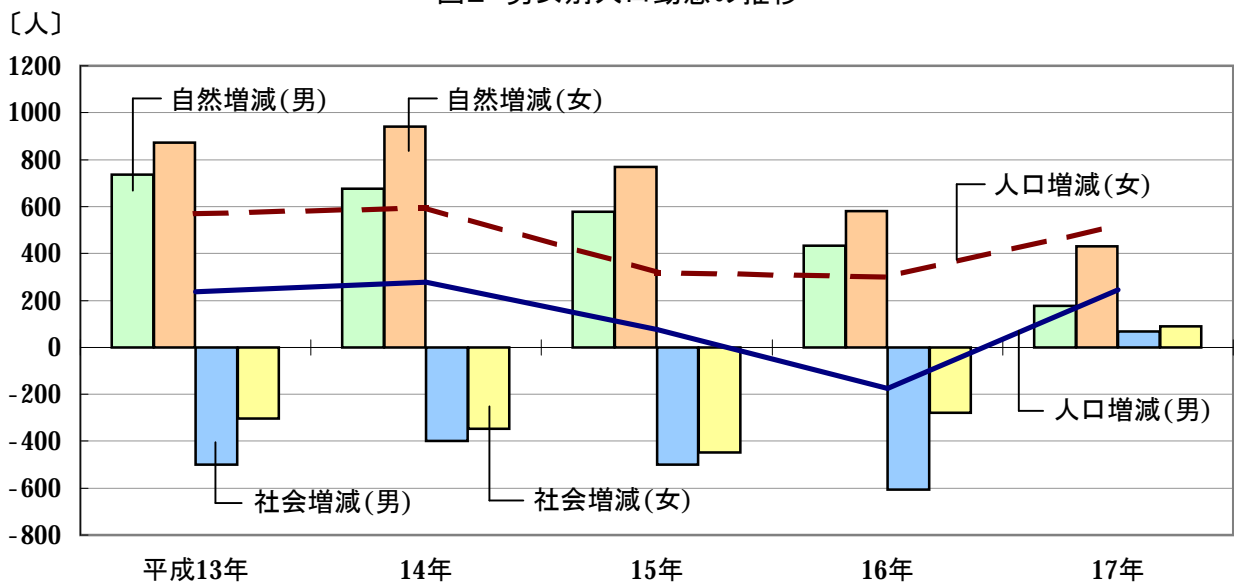


表2 男女別人口動態の推移

(単位: 人)

区分	人口増減	自然動態			社会動態				
		自然増減	出生	死亡	社会増減	転入	転出	その他	
		総				数			
13	805	1,607	5,350	3,743	△ 802	16,081	17,066	183	
14	870	1,616	5,280	3,664	△ 746	15,852	16,636	38	
15	396	1,345	5,069	3,724	△ 949	15,810	16,859	100	
16	126	1,013	4,994	3,981	△ 887	15,410	16,426	129	
17	764	606	4,646	4,040	158	15,238	15,206	126	
		男							
13	236	735	2,742	2,007	△ 499	8,351	8,951	101	
14	277	676	2,703	2,027	△ 399	8,230	8,627	△ 2	
15	77	577	2,583	2,006	△ 500	8,176	8,707	31	
16	△ 174	433	2,588	2,155	△ 607	7,778	8,435	50	
17	244	176	2,327	2,151	68	7,758	7,744	54	
		女							
13	569	872	2,608	1,736	△ 303	7,730	8,115	82	
14	593	940	2,577	1,637	△ 347	7,622	8,009	40	
15	319	768	2,486	1,718	△ 449	7,634	8,152	69	
16	300	580	2,406	1,826	△ 280	7,632	7,991	79	
17	520	430	2,319	1,889	90	7,480	7,462	72	

注) 外国人登録数を含む。

(3) 月別人口動態の推移

**3月を除き、すべての月で人口は増加**

平成17年中の月別の人口動態をみると、人口増減数は、3月の△746人を除き、すべての月でプラスとなった。中でも、最大となったのが4月の341人で、次いで7月の238人、10月の228人となった。

また、自然動態、社会動態別にみると、自然増減数は、1月の△35人、3月の△72人、12月の△7人と3つの月でマイナスになったのに対し、その他の月ではプラスとなった。これは、寒い時期には死亡数が多いことに起因している。

また、社会増減数は、3月の△674人をはじめとする4つの月でマイナスとなった。3月は転入者数、転出者数ともに最も多かったが、特に転出者数が極めて多く、そのため社会増減数は大幅なマイナスとなった。

図3 月別人口動態の推移(平成17年中)

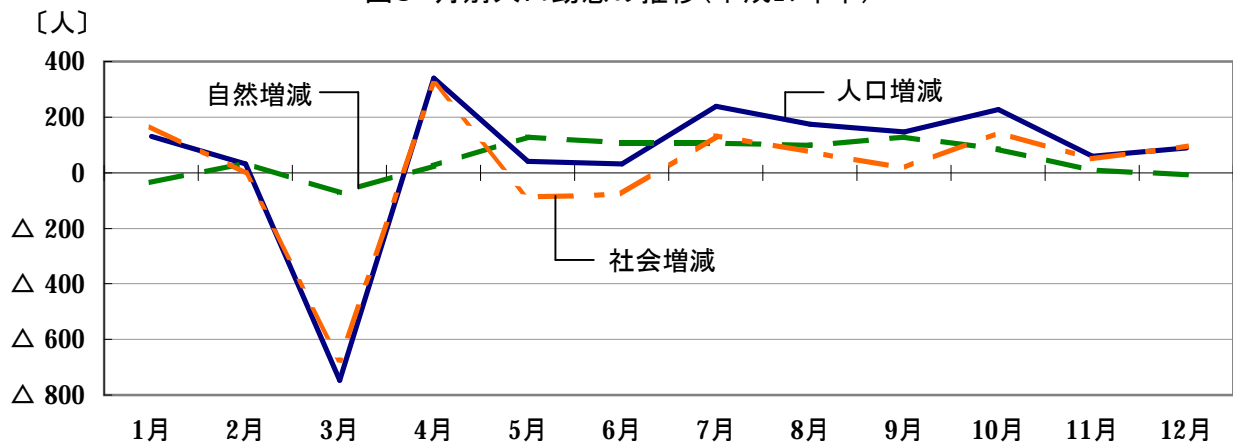


表3 月別人口動態の推移 (平成17年中)

(単位：人)

区 分	人 口 増 減	自 然 動 態			社 会 動 態			
		自然増減	出 生	死 亡	社会増減	転 入	転 出	その他
平成17年総数	764	606	4,646	4,040	158	15,238	15,206	126
1月	131	△ 35	402	437	166	1,172	1,025	19
2月	31	33	368	335	△ 2	1,087	1,072	△ 17
3月	△ 746	△ 72	362	434	△ 674	2,658	3,323	△ 9
4月	341	24	373	349	317	1,651	1,393	59
5月	40	129	408	279	△ 89	1,079	1,124	△ 44
6月	31	108	395	287	△ 77	938	1,039	24
7月	238	105	408	303	133	1,220	1,106	19
8月	175	99	404	305	76	1,083	1,023	16
9月	147	129	404	275	18	1,215	1,201	4
10月	228	84	411	327	144	1,139	1,021	26
11月	59	9	352	343	50	965	927	12
12月	89	△ 7	359	366	96	1,031	952	17

注) 外国人登録数を含む。

### 3. 自然動態

#### (1) 概況

#### 自然増減数は、3年連続の減少

平成17年中の自然動態をみると、自然増減数は606人で、前年の1,013人と比べ、407人減少した。このため、自然増減率は1.26%となり、前年の2.11%と比べ、0.85ポイント減少し、自然増減数、自然増減率ともに3年連続の減少となった。

また、出生、死亡別にみると、平成17年中の出生数は4,646人で、前年の4,994人と比べ、348人減少した。このため、出生率は9.63%となり、前年の10.38%と比べ、0.75ポイント減少し、5年連続の減少となった。

また、死亡数は4,040人で、前年の3,981人と比べ、59人増加した。このため、死亡率は8.38%となり、前年の8.28%と比べ、0.10ポイント増加し、3年連続の増加となった。

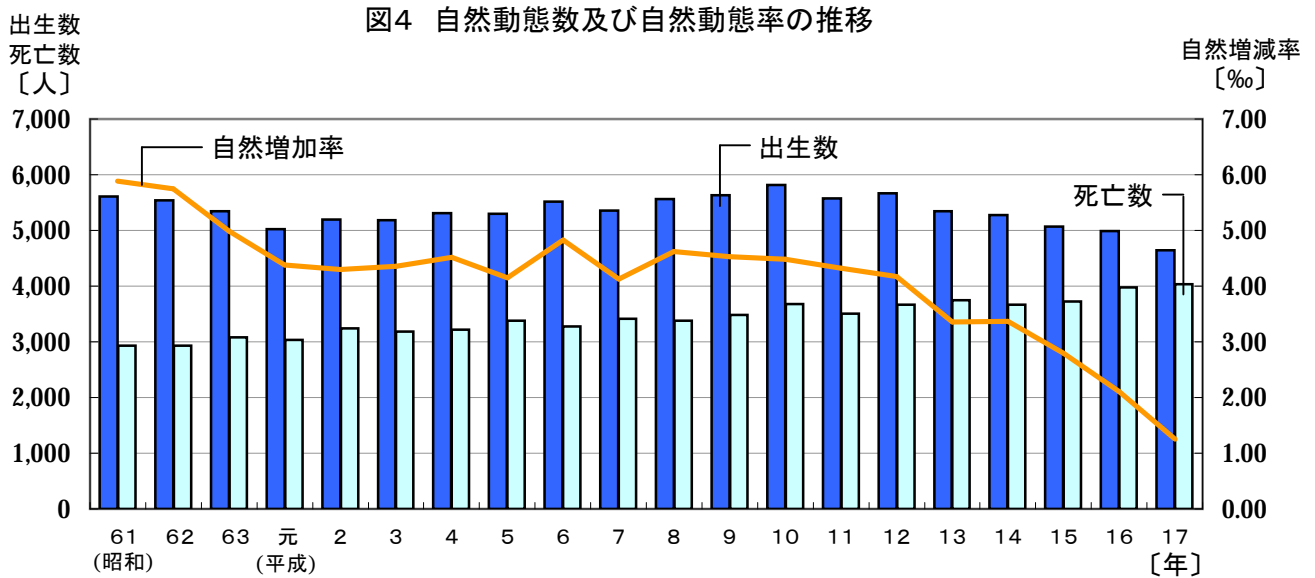


表4 自然動態数及び自然動態率の推移

(単位：人，%)

区分	自然増減数	出生数	死亡数	自然増減率	出生率	死亡率	人口 (10月1日現在)
昭和 61年	2,672	5,607	2,935	5.89	12.36	6.47	453,636
62	2,607	5,536	2,929	5.74	12.19	6.45	453,974
63	2,263	5,341	3,078	4.99	11.78	6.79	453,276
平成 元年	1,985	5,024	3,039	4.38	11.08	6.70	453,586
※ 2	1,955	5,196	3,241	4.30	11.44	7.13	454,360
3	1,995	5,182	3,187	4.36	11.32	6.96	457,579
4	2,083	5,305	3,222	4.52	11.52	6.99	460,627
5	1,920	5,295	3,375	4.15	11.43	7.29	463,197
6	2,249	5,521	3,272	4.83	11.85	7.02	465,941
※ 7	1,942	5,352	3,410	4.12	11.36	7.24	470,986
8	2,189	5,566	3,377	4.63	11.76	7.14	473,177
9	2,151	5,635	3,484	4.53	11.86	7.33	475,167
10	2,138	5,814	3,676	4.48	12.19	7.71	476,800
11	2,070	5,575	3,505	4.33	11.65	7.33	478,433
※ 12	1,996	5,663	3,667	4.17	11.84	7.67	478,309
13	1,607	5,350	3,743	3.35	11.16	7.81	479,431
14	1,616	5,280	3,664	3.37	11.00	7.63	480,147
15	1,345	5,069	3,724	2.80	10.55	7.75	480,684
16	1,013	4,994	3,981	2.11	10.38	8.28	481,011
※ 17	606	4,646	4,040	1.26	9.63	8.38	482,307

注) ※の人口は国勢調査結果における人口、それ以外は推計人口。平成17年は国勢調査速報値。外国人登録数を含む。

(2) 出生率及び死亡率の推移

**出生率は減少傾向、死亡率は増加傾向**

出生率の推移をみると、姫路市では、平成元年に大きく減少して以降、多少の増減はあるものの増加傾向をたどっていたが、平成10年を境に減少傾向に転じ、平成12年を除いて減少を続け、平成17年には、過去20年間で最も低い9.63%となった。

だが、全国の出生率と比べると、過去19年間、常に全国の数値を上回っており、平成10年には2.59ポイントと大きく上回った。しかし、近年では、姫路市の出生率の減少傾向が大きくなり、徐々に全国の出生率に近づいてきている。

一方、死亡率の推移をみると、姫路市では、過去20年間、多少の増減がありつつも増加傾向をたどり、平成17年には、8.38%と最も高い水準となった。

また、全国の死亡率と比べると、過去19年間、ほぼ同様の推移をたどっており、姫路市、全国ともに、死亡率と出生率の差が年々小さくなってきている。

図5 出生率及び死亡率の推移(姫路市、全国)

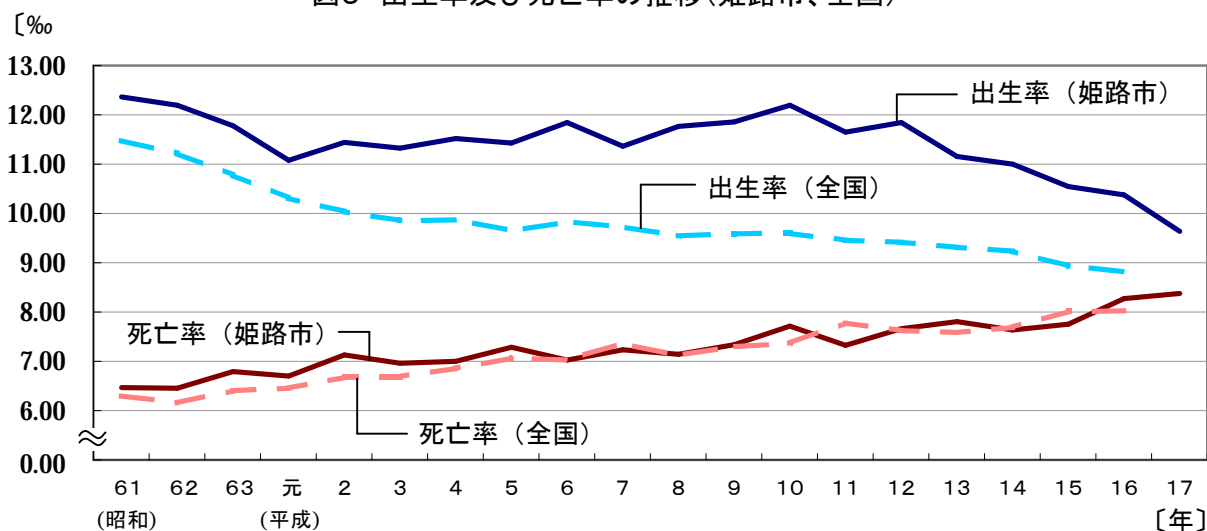


表5 出生率及び死亡率の推移(姫路市、全国)

(単位: ‰)

区 分	出 生 率		死 亡 率	
	姫路市	全 国	姫路市	全 国
昭和 61年	12.36	11.48	6.47	6.30
62	12.19	11.22	6.45	6.15
63	11.78	10.78	6.79	6.40
平成 元年	11.08	10.31	6.70	6.45
2	11.44	10.04	7.13	6.67
3	11.32	9.86	6.96	6.69
4	11.52	9.87	6.99	6.86
5	11.43	9.65	7.29	7.07
6	11.85	9.83	7.02	7.02
7	11.36	9.73	7.24	7.36
8	11.76	9.55	7.14	7.12
9	11.86	9.58	7.33	7.30
10	12.19	9.60	7.71	7.37
11	11.65	9.45	7.33	7.78
12	11.84	9.41	7.67	7.62
13	11.16	9.31	7.81	7.59
14	11.00	9.23	7.63	7.69
15	10.55	8.93	7.75	8.01
16	10.38	8.82	8.28	8.02
17	9.63	...	8.38	...

注) 外国人登録数を含む。

#### 4. 社会動態

##### (1) 概況

**転入超過数は、10年ぶりのプラス**

平成17年中の社会動態をみると、転入超過数は32人で、昨年の△1,016と比べ、1,048人増加した。このため、転入超過率は0.07%となり、前年の△2.11%と比べ、2.18ポイント増加し、平成7年以来10年ぶりにマイナスからプラスに転じた。

また、転入、転出別にみると、平成17年中の転入者数は15,238人で、前年の15,410人と比べ、172人減少した。このため、転入率は31.59%となり、前年の32.04%と比べ、0.45ポイント減少し、4年連続の減少となった。

また、転出者数は15,206人で、前年の16,426人と比べ、1,220人減少した。このため、転出率は31.53%で、前年の34.15%と比べ、2.62ポイントの減少し、過去20年間で最も低い水準となった。

図6 転入・転出者数の推移

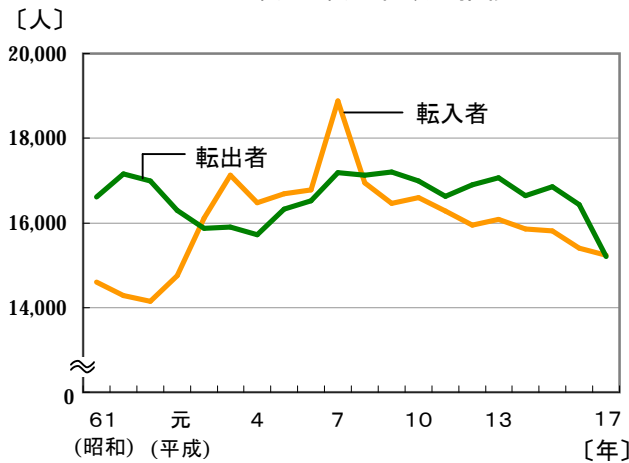


図7 転入超過率の推移

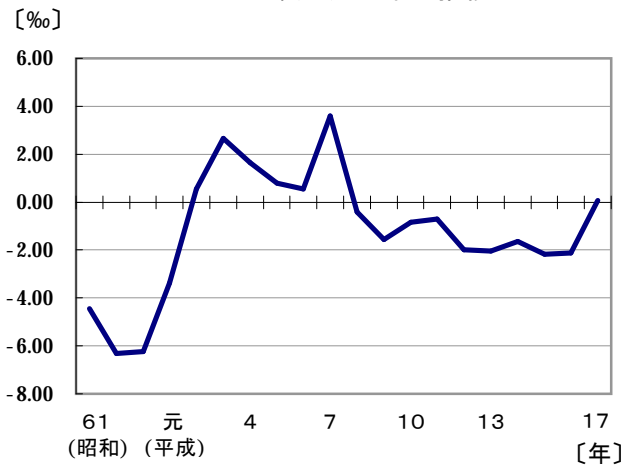


表6 社会動態数及び社会動態率の推移

(単位：人，%)

区分	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過率	転入率	転出率	人口 (10月1日現在)
昭和61年	△2,012	14,598	16,610	△4.44	32.18	36.62	453,636
62	△2,863	14,289	17,152	△6.31	31.48	37.78	453,974
63	△2,830	14,154	16,984	△6.24	31.23	37.47	453,276
平成元年	△1,534	14,757	16,291	△3.38	32.53	35.92	453,586
※2	245	16,111	15,866	0.54	35.46	34.92	454,360
3	1,219	17,120	15,901	2.66	37.41	34.75	457,579
4	758	16,474	15,716	1.65	35.76	34.12	460,627
5	366	16,685	16,319	0.79	36.02	35.23	463,197
6	255	16,783	16,528	0.55	36.02	35.47	465,941
※7	1,689	18,881	17,192	3.59	40.09	36.50	470,986
8	△189	16,943	17,132	△0.40	35.81	36.21	473,177
9	△737	16,460	17,197	△1.55	34.64	36.19	475,167
10	△395	16,598	16,993	△0.83	34.81	35.64	476,800
11	△344	16,286	16,630	△0.72	34.04	34.76	478,433
※12	△953	15,950	16,903	△1.99	33.35	35.34	478,309
13	△985	16,081	17,066	△2.05	33.54	35.60	479,431
14	△784	15,852	16,636	△1.63	33.01	34.65	480,147
15	△1,049	15,810	16,859	△2.18	32.89	35.07	480,684
16	△1,016	15,410	16,426	△2.11	32.04	34.15	481,011
※17	32	15,238	15,206	0.07	31.59	31.53	482,307

注) ※の人口は国勢調査結果における人口、それ以外は推計人口。平成17年は国勢調査速報値。外国人登録数を含む。

(2) 県内地域別転入・転出者数の推移（住民基本台帳）

**県内の転入超過数は、3年連続の増加**

県内の社会動態をみると、平成17年中の転入超過数は347人で、前年の△37人と比べ、384人増加し、3年連続の増加となった。地域別にみると、神戸地域の△315人、阪神地域の△89人と2つの地域で転入超過数がマイナスであったのに対し、中播磨地域の330人、西播磨地域の244人をはじめ、それ以外の地域ではプラスであった。

また、転入、転出者数別にみると、平成17年中の転入者数は6,850人で、前年の6,880人と比べ、30人減少し、過去5年間、連続で減少した。地域別にみると、西播磨地域の2,006人が最も多く、次いで東播磨地域の1,571人、中播磨地域の1,179人となった。

また、転出者数は6,503人で、前年の6,916人と比べ、413人減少し、過去5年間で最も少ない数となった。地域別にみると、西播磨地域の1,762人が最も多く、次いで東播磨地域の1,524人、神戸地域の1,161人となった。

図8 県内地域別転入・転出者数

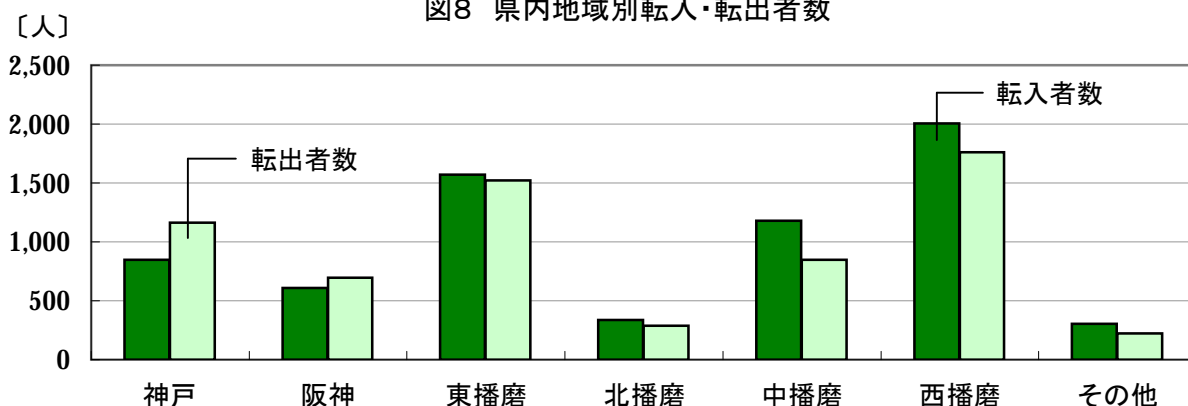


表7 県内地域別転入・転出者数の推移（住民基本台帳）

区分	総数	神戸地域	阪神地域	東播磨地域	北播磨地域	中播磨地域	西播磨地域	その他の地域
<b>転入超過数</b>								
平成13年	△ 272	△ 325	△ 245	△ 154	43	39	326	44
14	80	△ 305	△ 30	△ 73	79	220	109	80
15	△ 265	△ 381	△ 101	△ 86	81	55	120	47
16	△ 37	△ 337	△ 85	△ 125	42	177	194	97
17	347	△ 315	△ 89	47	50	330	244	80
<b>転入者数</b>								
平成13年	7,311	857	644	1,607	404	1,162	2,276	361
14	7,110	884	696	1,563	371	1,167	2,082	347
15	6,888	809	659	1,597	377	1,157	1,963	326
16	6,880	887	609	1,560	367	1,104	2,025	328
17	6,850	846	606	1,571	338	1,179	2,006	304
<b>転出者数</b>								
平成13年	7,583	1,182	889	1,761	361	1,123	1,950	317
14	7,030	1,189	726	1,636	292	947	1,973	267
15	7,153	1,190	760	1,683	296	1,102	1,843	279
16	6,916	1,224	694	1,685	325	927	1,831	230
17	6,503	1,161	695	1,524	288	849	1,762	224

注) 外国人登録数を含まない。

〔地域区分〕

神戸地域：神戸市

阪神地域：尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡

東播磨地域：明石市、加古川市、高砂市、加古郡

北播磨地域：西脇市、三木市、小野市、加西市、加東郡、多可郡

中播磨地域：飾磨郡、神崎郡

西播磨地域：相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、揖保郡、赤穂郡、佐用郡、宍粟郡

その他の地域：豊岡市、養父市、朝来市、美方郡、篠山市、丹波市、洲本市、南あわじ市、淡路市、津名郡



(3) 県外地域別転入・転出者数の推移（住民基本台帳）

**県外の転入超過数は、過去5年で最少の減少数**

県外の社会動態をみると、平成17年中の転入超過数は△491人で、前年の△1,111人と比べ、620人増加し、過去5年間で最も少ない減少数となった。地域別にみると、中国・四国地方の95人、九州・沖縄地方の37人、北海道・東北地方の35人と3つの地域で転入超過数がプラスであったのに対し、関東地方の△349人、近畿地方の△131人をはじめ、それ以外の地域ではマイナスであった。

また、転入、転出者数別にみると、平成17年中の転入者数は6,552人で、前年の6,509人と比べ、43人増加した。地域別にみると、近畿地方の2,109人が最も多く、次いで中国・四国地方の1,463人、関東地方の1,141人となった。

また、転出者数は7,043人で、前年の7,620人と比べ、577人減少し、過去5年間で最も少ない数となった。また、地域別にみると、近畿地方の2,240人が最も多く、次いで、関東地方の1,490人、中国・四国地方の1,368人となった。

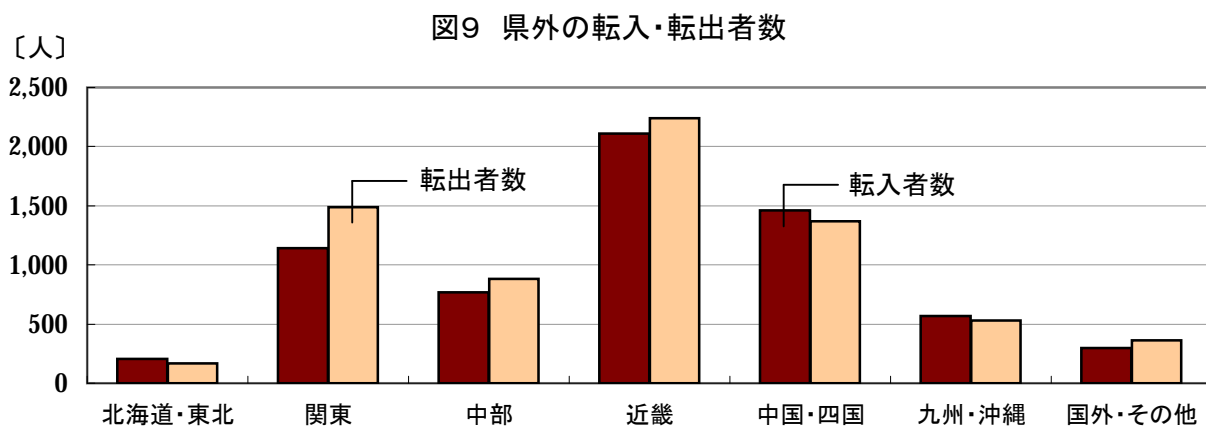


表8 県外地域別転入・転出者数の推移（住民基本台帳）

区分	総数	北海道・東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国・四国地方	九州・沖縄地方	国外・その他
<b>転入超過数</b>								
平成13年	△ 907	△ 21	△ 426	△ 127	△ 206	△ 71	37	△ 93
14	△ 1,171	△ 17	△ 550	△ 67	△ 231	△ 26	△ 80	△ 200
15	△ 1,202	△ 18	△ 492	30	△ 419	△ 134	△ 43	△ 126
16	△ 1,111	△ 6	△ 544	△ 109	△ 336	7	△ 70	△ 53
17	△ 491	35	△ 349	△ 116	△ 131	95	37	△ 62
<b>転入者数</b>								
平成13年	7,325	200	1,323	711	2,512	1,668	659	252
14	7,185	188	1,166	827	2,484	1,682	543	295
15	7,085	214	1,201	845	2,317	1,553	603	352
16	6,509	195	1,122	789	2,107	1,490	542	264
17	6,552	203	1,141	768	2,109	1,463	570	298
<b>転出者数</b>								
平成13年	8,232	221	1,749	838	2,718	1,739	622	345
14	8,356	205	1,716	894	2,715	1,708	623	495
15	8,287	232	1,693	815	2,736	1,687	646	478
16	7,620	201	1,666	898	2,443	1,483	612	317
17	7,043	168	1,490	884	2,240	1,368	533	360

注) 外国人登録数を含まない。

[地方区分]

北海道・東北地方：北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県

関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿地方：滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県

中国・四国地方：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県



## 5. 合併町の人口動態

### 合併4町の人口増減数は、すべてマイナス

平成18年3月27日に合併をした家島町、夢前町、香寺町、安富町の人口動態をみると、平成17年中の人口増減数は、4町すべてでマイナスとなった。特に、家島町では△216人、夢前町では△277人と大幅な人口減少となった。

また、自然動態、社会動態別にみると、自然増減数は、全ての町で平成10年までプラスであったが、その後、多少の増減はあるものの徐々に減少し、平成17年には、4町全てでマイナスとなった。

また、平成17年中の社会増減数も、4町全てでマイナスとなった。自然増減数と比べて、社会増減数は大きくマイナスとなっており、家島町、夢前町、香寺町の3町では、△100人を超える減少数となった。

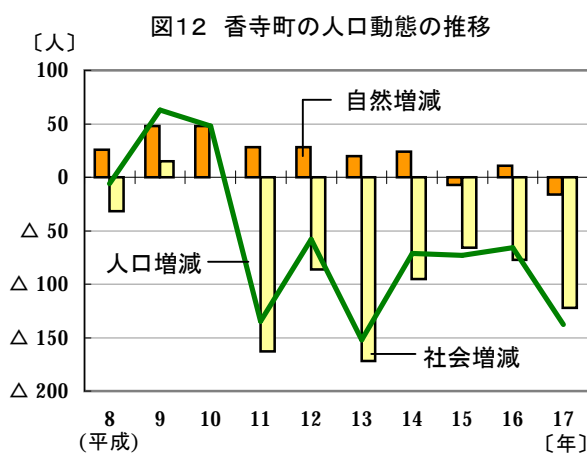
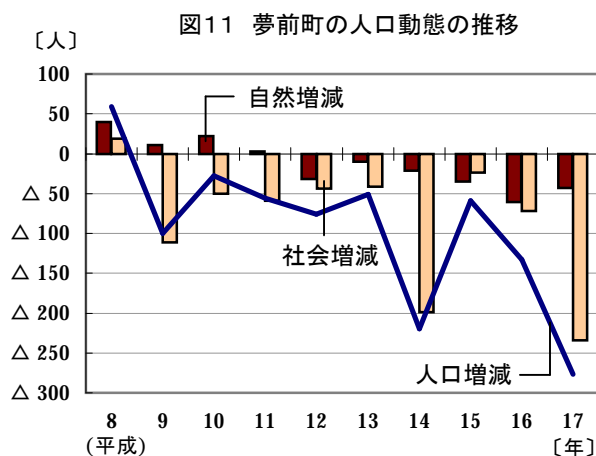
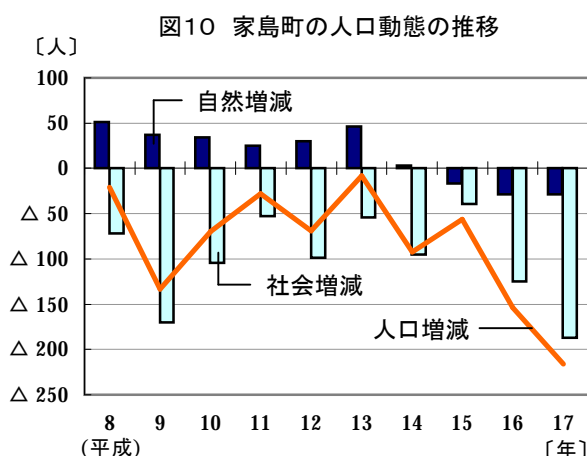


表9 家島町の人口動態の推移

(単位：人)

区分	人口増減	自然動態			社会動態			
		自然増減	出生	死亡	社会増減	転入	転出	その他
平成 8年	△ 21	51	112	61	△ 72	246	320	2
9	△ 133	37	114	77	△ 170	217	398	11
10	△ 70	34	88	54	△ 104	208	319	7
11	△ 28	25	101	76	△ 53	177	238	8
12	△ 69	30	92	62	△ 99	166	274	9
13	△ 8	46	102	56	△ 54	202	269	13
14	△ 92	3	68	65	△ 95	201	307	11
15	△ 56	△ 17	64	81	△ 39	186	242	17
16	△ 154	△ 29	64	93	△ 125	150	276	1
17	△ 216	△ 29	47	76	△ 187	113	308	8

注) 外国人登録数を含む。

表 1 0 夢前町の人口動態の推移

(単位：人)

区 分	人 口 増 減	自 然 動 態			社 会 動 態			
		自然増減	出 生	死 亡	社会増減	転 入	転 出	その他
平成 8年	59	40	183	143	19	1,175	1,163	7
9	△ 100	11	174	163	△ 111	999	1,118	8
10	△ 28	22	175	153	△ 50	970	1,031	11
11	△ 56	3	174	171	△ 59	930	1,006	17
12	△ 76	△ 32	138	170	△ 44	920	966	2
13	△ 51	△ 10	142	152	△ 41	899	950	10
14	△ 220	△ 21	131	152	△ 199	790	1,007	18
15	△ 59	△ 35	122	157	△ 24	828	868	16
16	△ 133	△ 61	113	174	△ 72	851	895	△ 28
17	△ 277	△ 43	137	180	△ 234	738	983	11

注) 外国人登録数を含む。

表 1 1 香寺町の人口動態の推移

(単位：人)

区 分	人 口 増 減	自 然 動 態			社 会 動 態			
		自然増減	出 生	死 亡	社会増減	転 入	転 出	その他
平成 8年	△ 6	26	153	127	△ 32	772	812	8
9	63	48	179	131	15	797	791	9
10	48	48	182	134	0	800	811	11
11	△ 135	28	174	146	△ 163	655	828	10
12	△ 58	28	172	144	△ 86	705	799	8
13	△ 152	20	162	142	△ 172	664	845	9
14	△ 71	24	171	147	△ 95	619	720	6
15	△ 73	△ 7	140	147	△ 66	694	768	8
16	△ 66	11	154	143	△ 77	641	723	5
17	△ 138	△ 16	134	150	△ 122	595	725	8

注) 外国人登録数を含む。

表 1 2 安富町の人口動態の推移

(単位：人)

区 分	人 口 増 減	自 然 動 態			社 会 動 態			
		自然増減	出 生	死 亡	社会増減	転 入	転 出	その他
平成 8年	140	11	52	41	129	385	257	1
9	61	13	62	49	48	320	290	18
10	53	23	72	49	30	259	231	2
11	△ 6	△ 12	55	67	6	229	227	4
12	18	15	64	49	3	242	239	0
13	△ 1	△ 4	65	69	3	214	216	5
14	△ 70	△ 4	52	56	△ 66	155	222	1
15	44	21	62	41	23	196	170	△ 3
16	△ 45	△ 8	56	64	△ 37	158	196	1
17	△ 114	△ 34	40	74	△ 80	133	220	7

注) 外国人登録数を含む。